

みどりの杜俳句会

古郷に父母の声なく春寒し

佐山ケサ子

みどりの杜の垣根に浴びて草青む

川上 和枝

思ひ出の黄梅ひらき別れの日

田村 好子

雨の中桜の色の白さ増す

鈴木 啓子

芽吹きゆきく山の大樹や雨の中

飯野はつ志

老ひの手に桜一枝握りたし

吉田 愛子

音のなき雨に桜のけむりけり

木村 弘子

桜草細かき花を日溜りに

高橋 ツ子

満開の近き桜や雨つづく

西 つる

山の日には芽吹き盛りの桜かな

梅澤きくえ

孫生る知らせの嬉し春の月

今村千鶴子

わらび狩り十年杉の日溜りに

落合 七郎

手をつなぐ最後の登園桜舞ふ

神田 昌美

村道曲り桃の切花置いてあり

関口 侑子

春荒れや畑に鳥除け風車鳴る

野口利江子

大がまに楮の蒸す香や広場まで

岡部富美子

蒸し楮黒皮はがし竹に干す

鯨井 和枝

大釜に隙なく楮束を蒸す

土屋 厚子

楮浸場寒の水張り和紙工房

初雁 功子

寒楮伐るや斜めに鎌当てて

山田 美子



人権シリーズ

403

『深く考えてみて』

この世のすべての人たちには、生きていくための権利が必ずあります。世界中の人々の中には、人種や宗教の違う人、または障がいを持つ人、差別を受けている人など、さまざまの人が生活していますが、いくら生きていくための権利と言っても、それを振りかざすことは良くないのではないのでしょうか。お互いに、個人の人格をなじるのではなく尊重し合い思いやりを持つことが大切です。そうすれば差別や偏見を少しでも無くしていけると思います。

私は、スポーツが好きで野球やサッカーなどをよく観ます。よくスポーツでは、ライバルがいるから面白いと言われます。WBCで日本代表チームが活躍しましたが、代表の人たちはレギュラーを争うライバルですが、お互いに実力を認め合い、個人の人格を尊重しているからこそベンチの中が和気あいあいとしてとても良い雰囲気です。

先日、車いすテニスの国枝慎吾さんが、国民栄誉賞を受賞されました。彼もまたライバルたちとの実力をお互いに認め合い、切磋琢磨していたからこそその結果ではないのでしょうか。

この原稿を書くにあたって、改めて人権、差別、偏見など考えてみましたが、とても奥が深いと思いました。以前、ある小学校の校長先生から、こんな話を聞いたことがあります。男子女子を分けてクラス名簿を作ったそうです。あるお母さんからこれは差別じゃないですかと言われたそうです。校長先生は、これは差別ではなく区別ですと答えたそうです。皆さんはどう思いますか。やはり人権、差別、偏見は奥が深いです。

民生委員・児童委員協議会 萩原 義博

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 5月30日(火) 午後1時30分～
場所 役場2階新会議室
問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

